超速硬タイプ　無収縮断面修復モルタル材

「なおしタル Q」

「NAOSHITARU　Q」

「なおしタル Q」は、使用時に所定量の水を加え、練り混ぜることにより使用できる、プレミックスタイプの超速硬タイプ断面修復モルタル材です。20℃環境において、3時間で圧縮強度15N/㎟、24時間で25N/㎟以上の強度発現性があります。早く供用したい、緊急を要するコンクリート構造物補修工事に使用することができます。

特　長

1. 超速硬性を有し、短時間で所定の強度を得ることができます。
2. 温度依存の影響が小さく、低温時でも短時間で強度発現が期待できます。
3. 市販のポリマーセメントモルタルに比べて、厚付け施工性があります。
4. 施工直後の乾燥によるひび割れ抵抗性が高く、長期においても高い無収縮性能を有しています。

用　途

○　緊急を要するコンクリート構造物の補修
○　早く供用したいコンクリート構造物の補修（水路補修、床版補修等）
○　寒冷地におけるコンクリート構造物の補修

仕　様

1袋あたりの練上り量			1㎥あたりの使用量	
「なおしタル Q」（kg）	水（kg）※1	練上り量（ℓ）	「なおしタル Q」（kg）	水（kg）
20	3.2	約10	1,880kg（20kg×94袋）	301

注1　練り混ぜ水は、環境温度、施工方法により変動します。1袋あたり2.9～3.5kg/20kg袋の範囲を目安にご使用ください。

施工方法

1. 施工する面は必ず粗面処理を行い、完全に粉分、油分等を除去し、水湿しまたはプライマーを用いて下地吸水調整をしてください。
2. 剥落防止対策は、施主・設計の指示に従い行ってください。
3. 鉄筋が腐食している場合は、適切な防錆処理を行ったのち施工してください。
4. 練混ぜはハンドミキサまたはパン型ミキサを用い、練混ぜ時間120～180秒を目安に練混ぜ、左官工法で施工してください。
5. 可使時間が短いため、余裕のある施工計画にしてください。
6. 施工後は必ず適切な養生を行ってください。まれに施工後数時間で表面に乾燥ひび割れが発生する場合があります。必ず、ビニール養生を行ってください。ビニール養生ができない場合は、養生剤を使用してください。

物性試験例

水　量 (kg/ 袋)	モルタル温度 (℃)	フロー (15打フロー) (mm)	圧縮強度 (N/mm²)				静弾性係数 (kN/mm²)	付着強度 (N/mm²)	長さ変化 (%)
			3h	24h	7日	28日	28日	28日	28日
3.2	20	143	21.3	30.5	45.3	54.2	25.1	2.59	0.013

フロー試験　：　JIS R 5201 セメントの試験方法

圧縮試験　：　JIS A 1108 コンクリートの圧縮強度試験方法 養生条件：20℃、湿度 60%、気乾養生

静弾性係数：　JIS A 1149 コンクリートの静弾性係数試験方法 養生条件：20℃、湿度 60%、気乾養生

付着強度　：　JSCE-K 561 5.8 付着強度による 施工厚さt＝10mm 養生条件：20℃、湿度 60%、気乾養生

長さ変化　：　JIS A 1129 モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法 供試体作成後、3 時間で基長にて測定

可使時間の目安 ※2

10℃環境　15〜25分	20℃環境　10〜15分	30℃環境　5〜10分

※2　可使時間は目安の時間です。出来るだけ、時間に余裕を持った早めの施工をお薦めします。

関連商品

下地調整塗材	なおしタル　カチオン C−1・C−2
アクリル系吸水調整プライマー	なおしタル　コート FP
コテ仕上げ助剤・養生剤	なおしタル　コート FA
鉄筋コンクリート用防錆ペースト	なおしタル　L ペースト

包装形態

20kg 入　防湿袋

使用上の注意事項

1. 本製品は、直射日光を避け、5〜35℃の室内で保管してください。
2. 凍結するような環境では、使用しないでください。
3. 取扱いおよび施工には、必ず、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護用具を着用してください。
4. 本製品が、目に入った場合は速やかに水道水で洗浄し、また、飲み込んだ場合は嘔吐させ、いずれも専門医の診察を受けてください。

なおしタル工法研究会

株式会社ニューテック

〒174-0056　東京都板橋区志村1-2-9

TEL 03-5918-9688　FAX 03-5918-9687

http://www.kknewtech.co.jp/　E-mail info@kknewtech.co.jp

180921